

札幌市議会議員

# 池田ゆみ

2022年3月号

# 市政事務所だより

【発行】日本共産党 池田ゆみ市政事務所 〒062-0904 豊平区豊平4条10丁目2-13高木ビル1階  
【HP】 <http://www.yumi-ikeda.com/> 【電話】 818-8367 【FAX】 818-8368



## オミクロン株対応で緊急要請

新型コロナウイルスは、オミクロン株の拡大で札幌の1日の新規感染者が1月末に1600人を超え、2月に入って2000人を超えるなど、急速な拡大となりました。

こうした事態に、日本共産党札幌市議団は1月31日、秋元市長に緊急要請を行い、市の迅速な対応を求めました。

## 検査キットの確保など求める

新型コロナウイルス・オミクロン株の急速な拡大に伴い、札幌市は保健所が実施してきた感染経路を特定する疫学調査にかえて、新型コロナウイルスと診断された市民みずからが、知人等に連絡する方式に切り替えました。こうした対応に市議団には、「感染者から連絡を受けた市民が『感染の可能性』があると自己判断し、健康観察のため休暇を申し出ても受け付けてもらえないなどの相談



感染対策のため、村上市議団長が代表して要請

が寄せられました。また、検査キットの不足や、医療や介護、保育の

現場からは、PCR検査を受けたくても予約が取れず、職場復帰もままならないといった深刻な訴えがありました。こうした事態に、日本共産党札幌市議団は、検査キットの確保や、大規模無料検査の実施を国に求めること、重症化リスクの高い市民への疫学調査の継続、事業主に対し、「従業員から申し出があった場合、感染拡大防止を最優先にした対応を取ること」を周知徹底させること等を求めました。

対応した町田隆敏副市長は、「保育所で感染が広がると看護師などエッセンシャルワーカーと言われる方々が休まざるを得ない。保育所で抗原定性検査を実施する準備をしている。医療機関に検査キットを渡したい」と回答しました。



2022年度中に取り壊しとなるF9,10号棟

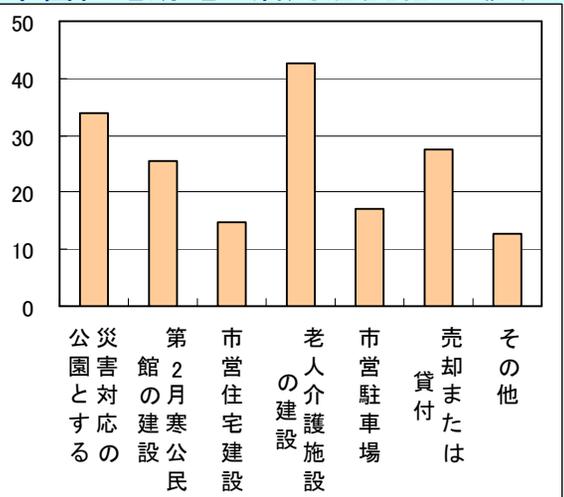
「老人介護施設の建設」が最も多く、次いで「災害対応の公園」でした。2016年に

## 月寒市営住宅跡地

## 高齢者対応の施設を

池田ゆみ市政事務所では昨年秋に、月寒地域を対象に1万枚のアンケートを配布し、月寒の市営住宅F団地9、10号棟跡地の活用について、意見を伺いました。アンケートは日本共産党市議団が行った市政アンケートと合わせて行い、47件の回答が寄せられました。

## 市営住宅跡地の活用(回答割合% 重複あり)



も同様のアンケート(豊平区全域対象141件の回答)を行っております。2016年のアンケートでも、高齢者向け施設や公園としての活用に関する回答が寄せられました。月寒の市営住宅F団地は建て替わりの9、10号棟が建っていた土地20a(約6

## 除排雪体制の強化についても要請

新型コロナウイルスと共に、今年の冬は雪が多く除排雪が追いつかず、暮らしを脅かしています。

豪雪対策について市議団が1月21日市長に緊急要請。介護事業所では送迎ができず、サービスを受けられない実態があることや、歩道と車道の間でできた段差を高齢者や障がい者が越えられない実態、救急車の遅れなどについて述べ、速やかに対策を講ずるよう以下の5点を要請しました。

対応した吉岡亨副市長は、「しっかり確認したい」と回答しました。

①緊急搬送や高齢者、障がい者など交通弱者世帯の実態調査と対策、②生活道路の除排雪、通学路交差点の雪山排雪、③除排雪要員、ダンプの確保など除排雪体制の強化、④創設される「豪雪地帯安全確保緊急対策交付金」の市民負担を伴わない形での積極活用、⑤除排雪予算を国に要請すること。



雪に埋まった生活道路



交渉は感染対策を取って行われました



補修された公園のベンチ(西岡)

灯油の高騰に伴う低

種について、予約が取りづらかったことから、改善を求めました。また、医

高齢化に伴う難聴に対する補聴器の助成について、実際に補聴器を使用している方から、「片方だけで12万円する。東京を始め各地で助成をする自治体が増えている。認知症予防の観点からも、国の対応待ちでな

豊平区民の要求を実現する連絡会(区内9団体で構成)は昨年11月、50項目に渡る区民要求について豊平区交渉(懇談)を行いました。

### ワクチン接種の改善、補聴器助成など 50項目について豊平区交渉

00坪)余りが余剰地となります。9、10号棟は本年取り壊しの予定で、跡地の活用については今のところ未定です。市としては、活用の予定がなければ、売却もしくは貸し付けを検討す

2016年の回答、意見もあわせ、F9、10号棟跡地を区民の要望に沿った形で活用するよう働きかけていきたいと思います。

### 新型コロナウイルス拡大生活苦に 事務所の生活相談大幅増

所得者への支援(福祉灯油)の実施を求めるとともに、カラス、キツネ対策についても意見交換を行いました。公園のベンチやガードレールの補修などについては早速実現しました。詳細は池田ゆみのホームページに掲載しています。

昨年池田事務所における相談は、延べ110件で、うち法律相談は26件でした。相談の内容としては、生活保護等の社会保障に関する相談が一番多く、全体の40%近くを占め、前年より大幅に増えました。生活が苦しくなった原因としては、「コロナで仕事を辞めた」、「コロナで給与が半減した」など、新型コロナウイルスの拡大により収入が大きく減少したことによるものが多く、生活保護の申請等の対応を取りました。新型コロナウイルスのワクチン接種に関する相談もあり、予約のお手伝いも行いました。

#### 2021年相談の内訳 (分類重複有り)

生活保護	生活保護など社会保障制度の運用	生活苦、滞納、差し押さえ	病気、障がい	債務、金銭トラブル	介護	財産、相続
10	19	14	4	3	5	7
賃金、働き方、労災	子育て、教育	業者、施設とのトラブル、近隣トラブル	道路、公園、除雪など地域要求	国、市の制度、政策	新型コロナウイルス関連	その他
2	1	20	6	6	18	16

こんにちは! 池田ゆみです



コロナ感染症拡大第6波に加えて1月、2月の大雪で区民のみなさんの負担も広がっていることと思います。人口が100万人以上の大都市で年間の積雪量が5mを超えているのは世界中で札幌市だけです。コロナ感染症の対策、冬の除排雪の対策で感ずることは、「備え」が必要なのに十分考えられていないのではないかと感じています。

### お困りごとは池田ゆみ市政事務所へ

新型コロナで仕事を失った、家賃が払えない、学費が払えない、税金、保険料の減免ができないか、支援金を申請したいが手続きがわからないなど、お困りごとは池田ゆみ市政事務所 818-8367へお電話ください。池田ゆみ市政事務所(36号線きたえーるに入る角、接骨院隣)は平日の10時~16時の間開いています。無料の法律相談会も毎月第3木曜日午後2時から行っています。弁護士が対応します。こちらは予約が必要です。818-8367へお電話を

各区にあつた保健所が1カ所となっており、感染が拡大すると対応できない事態となっています。そして、除排雪にはお金がかかりますが、除雪事業に携わる人の減少や除雪従事者の高齢化も課題とされています。年間を通じた建設業者への仕事と、安定した雇用や賃金の保障が必要です。市民生活に密着する道路整備や除排雪等の公共事業にこそ十分にお金をかけて、災害や公衆衛生に備える市政が必要と考えます。第1回定例市議会が始まりました。市民の声を議会につなげて頑張ります。